



諏訪清陵SSH優り

諏訪清陵高等学校

8月2

平成27年度第8号

(平成22年度指定)

☆諏訪清陵高等学校附属中学校「長野県中学生サイエンスグランプリ」 昨年度に続き連続優勝!!「第3回科学の甲子園ジュニア」全国大会出場へ ☆

8月8日(土)松本市で「第3回中学生サイエンスグランプリ(科学の甲子園ジュニア長野県大会)」が催され、本校附属中学校からは2、1年生の4チーム(チームA”マレフィセント”、チームB、チームC、チームD)が出場しました。そこで、2年生科学部部員6名で構成したチームAが見事優勝しました。

チームAは実は昨年度のサイエンスグランプリ優勝チームで全国大会でも9位に入賞した生徒で構成したチームです。附属中学校として、チームとして「長野県大会連覇」は見事です。

チームAの諸君は、昨年度は1年生のみのチームとして「まずは参加することに意義がある」と考え出場したようです。全国大会に出場して、全国の同年代の生徒が、科学に対する興味関心や知識のみならず、探究心・創意工夫を持って課題を解決する姿を見て、科学を学ぶことの意義や楽しさの一端を感じることができて、もう一度、科学好きの仲間と全国優勝を目指したいと、今年も挑戦したとのこと。

サイエンスグランプリ長野県大会では、「筆記競技」2位、「実技競技」理科部門3位、総合成績で優勝を獲得しました。なお、「実技競技」数学部門では本校附属中学校1年生チーム“つみれ”が1位を獲得しました。

勝因は、毎日科学部部員として活動を共にして互いの意見を遠慮せず自由に言い合える雰囲気があること、そしてメンバー6人がそれぞれの得意分野で力を発揮できた結果ではないかとのこと。

附属中学の生徒の皆さんは、平成27年12月4日(金)～12月6日(日)に東京で予定されている全国大会で、思う存分力を発揮して、全国の中学生と交流し、科学分野に関する興味関心と意欲を喚起されることを期待しています。



優勝し賞状、トロフィーを受けるAチーム6名



全県から23チームが参戦しました。

☆全国総合文化祭(滋賀)で長野県代表化学部口頭発表「文化連盟賞」☆

滋賀県において全国総合文化祭自然部門が平成27年7月30日から三日間の日程で開催され、本校からも化学部4名の生徒が参加し(3年生3人、2年生1人)、化学部が発表した「セリウムによるBZ反応について」が「文化連盟賞」をいただきました。

BZ反応は振動反応の一種で数種類の物質の濃度が幾つかの連鎖反応が次々起きて反応液の色など諸性質が周期的に変化する反応です。

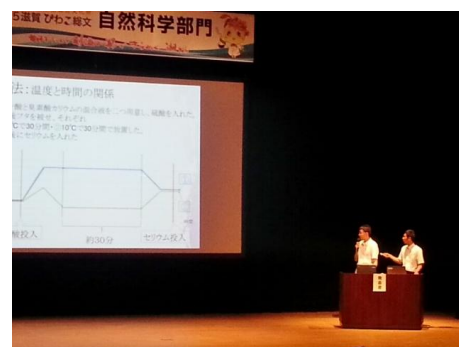
昨年度本校生徒が、「理論的に予想されていた幾つかの連鎖的反応のうち、2つの反応を分離できたのではないかと」発表し、SSH生徒研究発表会で科学技術振興機構理事長賞を受賞しました。その後、研究を引き継いだ化学部の諸君が、改めて反応を分離できる条件を再検証して、確かに反応を分離できること、分離できる反応は昨年度見つけた反応以外にもあることを発表しました。

総文祭では、口頭発表の翌日、他校の生徒とともに琵琶湖を大型船で周遊し、途中プランクトンの採集及び同定実習にも参加することができました。

本校は科学系クラブの振興や、全生徒の課題探究能力(課題発見力・解決力・発表等)の育成にも取り組んでいます。

「探究のテーマ決定時や中間発表の際などに議論を尽くすことで、課題探究を深化させることができる。また、学び方やものの考え方、問題解決能力などを身に付けることができる」「生徒達の創造性を十分に尊重し、観測・観察を大切に、教えるのではなく、学ばせることで生徒の探究的な態度が育つ」等の仮説を設定して取組を行っています。

化学部の取組も自らテーマを発見し、仲間と議論を積み上げて取組んできました。今後も後輩が研究を続ける予定です。なお、総文祭文芸部門県代表として2学年河西さん(平成26年度県文芸コンクール散文部門最優秀賞)が参加しました。



長野県代表として口頭発表しました

